

●…………… お 知 ら せ ……………●

——銀行・ゆうちょ銀行（郵便局）

口座自動引落しの割引特典のお知らせ——

銀行／ゆうちょ銀行（郵便局）の口座からの会費の自動引落しを選ばれますと、次年度基本会費から、5%割引になる特典がございます。

手続きの詳細は下記の URL を御参照下さい。

—<http://www.ieice.org/jpn/service/kaihishiharai/koza.html>

なお、新規にお申込みを希望される方、また口座の変更を行う方は 10月1日までに依頼書を事務局宛にて御送付下さい。

——御登録情報の変更・確認はマイページを

御利用下さい——

<http://www.ieice.org/jpn/service/member/mypage.html>

◆御利用方法

事前に、上記の URL からパスワードを取得の上御利用下さい。なお、パスワードは現在会員システムに登録されているメールアドレスに自動送信されます。

◆マイページで御利用頂ける内容

- (1) 登録情報の確認／変更について—送付先住所、会費支払方法(クレジットカードでの Web 決済、支払い方法の変更)、学生員申請、オンラインジャーナル購読内容の変更、満 60 歳以上の方の会費減額手続き、退会手続き
 - (2) 研究会情報配信サービスのための研究会名登録
- (注) †がついている内容は、会費の金額が変わる事項であり事故を防ぐため、マイページのリンク先から申請書類をダウンロードの上、FAX／郵送して頂く形式をとっております。

——論文誌の冊子体の廃止について——

本会では、1999 年 8 月から論文誌の電子的公開を開始し、2006 年 4 月からは個人の会員の皆様への論文誌の配布媒体をオンライン版とし、冊子体はオプションとしております。また、2009 年 4 月からは特殊員の皆様に対し、サイトライセンスを開始してきました。これらにより、近年オンライン版での閲覧が定着し、オプションとして冊子体を希望される方は減少しております。

一方、現在、電子情報通信学会・横断システム (IEICE Knowledge Discovery (略称: I-Scover)) などの新たなシステムの構築、会員管理システム刷新、既存の論文査読／公開システムの更改などを行っており、利用者の皆様のサービス向上及びオンラインを活用した学術情報発信強化に向けた取組みを進めているところです。

少子化等により会員数が漸減していく中で、今後も引き続き学会活動を持続可能なものにしていくために、リソースの集中を図ることが必要になっております。

その一環として、論文誌の冊子体を 2014 年 4 月号から廃止することが 2013 年 4 月 15 日の理事会で決定されました。これまで冊子体に親しんでこられた会員の皆様につきましても、今後はオ

ンライン版の御活用をお願い致しますと存じます。

御不便をおかけしますが、何とぞ御理解のほどよろしく御願ひ申し上げます。

なお、論文誌の別刷は引き続き作成致します。

——I-Scover チャレンジ 2013

～I-Scover でできる こんなこと、あんなこと～——

I-Scover プロジェクト普及推進チーム

本会では、発行する論文誌や研究会などの論文を横断的な検索が可能なサイト I-Scover (IEICE Knowledge Discovery) (<http://i-scover.ieice.org/>) を公開しております。I-Scover には、本会が保持する論文等の 16 万件以上の文献から、10 万件規模の技術用語や 10 万人規模の研究者データなどが構造化され、蓄積されています。

そこで、I-Scover の普及と学会に蓄積された論文の価値を国内・国際に広く知って頂くことを目的に、このデータをファイルとして提供し、これを利活用した研究を行い発表する場として、I-Scover で構築したデータ*を利活用するアイデアやプログラム、分析・可視化などを募るコンテストを開催することとなりました。

*提供するデータは、論文本文ではなく、検索のための著者名、キーワードなどのメタデータです。

多くの皆様からの作品の御応募を期待致します。

詳細は以下を御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~iscover/>

(1) 応募作品カテゴリー

御応募頂く作品は、例えば以下のようなものを想定しております。

- ・データ分析：構造化された論文データを分析することで新たな価値を発見する。
- ・可視化：論文データ間の関係などを分かりやすく表現する。
- ・アプリケーション：スマートフォンや PC などを用いて、論文データを利活用するアプリケーションを開発する。

(2) 応募資格

- ・Linked Data や知識処理・自然言語処理に興味をお持ちの方
- ・電子情報通信の分野の動向調査等に興味をお持ちの方
- ・ビジュアライゼーションやスマートフォン開発などに興味をお持ちの方
- ・研究環境を良くしたいと考えておられる方 など

(3) 応募手続き

別途公開致します所定フォーマットに必要事項を記載頂き、応募締切日までに「提出・照会先」宛にて御提出下さい。

所定フォーマットは、コンテストの詳細を記載する上記 URL にてお知らせする予定です。

なお、提供するデータの利用に際しては、学会が提示する条件に同意頂く必要があります。

※著作権の扱いにつきましては「電子情報通信学会著作権規程」を適用します。

(4) スケジュール

エントリー受付開始 2013 年 8 月 1 日～11 月 29 日

応募締切 2014 年 1 月 8 日 (予定) (締切日は変更になる場合があります)

(5) 選考方法

本会内に I-Scover チャレンジ 2013 審査会を設け、公正な審査

を行います。審査ポイントとしてユニークさ、美しさ、面白さ、有用性、意外性、グローバル性を考慮致します。

(6) 結果発表イベント

2014年3月に選考しました作品について御発表頂く場を設ける予定です。

(7) 提出・照会先

I-Discover チャレンジ 2013 実行委員会事務局

E-mail: iscover-challenge@ieice.org

I-Discover Twitter アカウント @iscover_jp

——知的環境とセンサネットワーク (ASN)

研究会ロゴ募集について——

知的環境とセンサネットワーク (ASN) 研究会のロゴの募集を致します。

1. 趣旨

ASN 研究会は情報通信技術を他の産業と融合させ、社会基盤として発展させていくためにセンサネットワークと知的環境技術を高めつつ、他産業との複合領域の研究を推進することを目的として平成 25 年度に新たに設立された研究会です。

この知的環境とは、センサネットワークより得られたデータを処理・解析して、その人の活動を拡張・強化あるいは補完・補助する機能を指します。

研究会設立にあたり、ASN 研究会では、本研究会のロゴを公募することとなりました。ロゴは ASN 研究会の Web サイトや印刷物ほか随所で使用を予定しています。

2. 応募内容

最低限“ASN”の3文字が入っているロゴのデザイン

3. 応募・参加資格

日本在住の方であればどなたでも応募することができます。

4. 応募方法

ロゴ、及び応募者の氏名、連絡先を明記の上、メール添付にて御応募下さい。

5. 応募形式

1. JPEG (若しくは EPS) 及びそれを PDF 化したデータ形式でデザインを作成 (2 MByte 以下) し、メールに必要事項を記入の上、添付して送信して下さい。

2. メールを表題を「ASN 研ロゴ募集」として下さい。

6. 応募期間

8月15日(木)～11月15日(金)

7. 発表

12月24日(月)

平成 26 年 1 月 23 日 (木)、24 日 (金) に松山市道後温泉で開催される ASN 研究会での表彰式を予定しています。

8. 賞品

賞状及び記念品 (iPad mini 16 GByte)

9. 応募規定

1. 応募点数の制限はありませんが、一点ずつ別メールで御応募下さい。

2. 応募作品は、自作・未発表で、第三者が有する著作権等の権利を侵害しないものに限り、既存のフォントを利用した場合には、その旨をお書き添え下さい。本規定に違反していることが判明した場合には、審査結果発表後であっても賞を取り消し、賞品の返還を求めます。

3. 万が一、本ロゴ募集の応募作品に対し、第三者から権利侵

害、損害賠償等の苦情、異議申し立てがあった場合は、電子情報通信学会は一切の責任を負わず、応募者が費用負担を含めて対処するものとします。

4. 受賞作品の著作権・使用权は全て一般社団法人電子情報通信学会に帰属します。受賞作品は有償・無償を問わずホームページ、印刷物、映像、イベントなどに使用される可能性があります。受賞者には一切の権利の主張を放棄して頂きます。

5. 受賞作品は、原案を尊重しながら、修正・補正・3D 化などの加工を行う場合があります。

6. 応募作品は返却しません。

7. 応募状況、当落に関するお問合せには回答致しかねます。

10. 個人情報の取扱いについて

1. 応募作品に係る個人情報については、作品の審査・発表・表彰・応募状況の集計・公表 (統計的に処理し、個人を特定する情報は含まない) 以外の目的で使用することはありません。

2. 発表の際には、受賞者の氏名を公表します。

11. 問合せ/応募先

ASN 研究会幹事補佐

関屋大雄 (千葉大) E-mail: asn-sec@mail.ieice.org

【参考】

ASN 研究会のホームページ

<http://www.ieice.org/~asn/>

——平成 25 年 8 月号及び 9 月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

8月号 [和文] 電子情報通信分野における萌芽的研究

(通信ソサイエティ)

8月号 [和文] 人や社会と共生するシステムを実現するネットワークソフトウェア

9月号 [和文] ワイヤレスシステムを支える技術を融合するアンテナ・伝搬技術論文

(エレクトロニクスソサイエティ)

9月号 [英文] Recent Development of Electro-Mechanical Devices—Papers selected from International Session on Electro-Mechanical Devices 2012 (IS-EMD 2012) and other recent research results—

(情報・システムソサイエティ)

8月号 [和文] 画像の認識・理解

8月号 [英文] Reconfigurable Systems

9月号 [和文] 画像符号化・映像メディア処理レター

9月号 [英文] Dependable Computing